

令和6年度 脳ドックのお知らせ

頭部MRI、MRA検査では、脳や血管の形の異常を見つけることができます。具体的には脳梗塞（血管の狭窄・閉塞）、脳動脈瘤（血管のコブ）、脳腫瘍、脳萎縮などです。脳梗塞は通常、手足の麻痺や言語障害などの症状が出て初めて診断がつく病気ですが、MRIでは、脳梗塞の予備軍や症状の目立たない脳梗塞（無症候性脳梗塞）を見つけることができます。

脳梗塞は生活習慣によって引き起こされることが多いため、脳検診だけでなく、日常の食生活や運動習慣を見直し、高血圧、脂質異常、糖尿病などの危険因子を予防することが重要です。脳検診で異常がなくても、そのことだけで安心せず日頃から生活習慣病の予防に努めましょう。

【検診は完全予約制です。各医療機関では検診を実施できる日時や人数に制限があります。】

医療機関によっては受け入れ期間の変更や中止になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

1. 期 間：令和6年6月～9月（予定）で各医療機関が指定する日（予約制）
2. 対 象 者：30歳以上で、令和7年3月31日までに偶数年齢に達する方
3. 検診内容：頭部MRI（磁気共鳴断層撮影）・頭部MRA（磁気共鳴血管撮影）
4. 検診場所及び料金

検診場所	住 所	検査料	個人負担金
白 河 病 院	白河市六反山 10-1	13,200 円	3,960 円
ニューロクリニック	西郷村下前田東 5-1	14,850 円	4,455 円
総合南東北病院須賀川診療所	須賀川市大袋町 206-2	11,000 円	3,300 円
会 田 病 院	矢吹町本町 2 1 6	18,700 円	5,610 円

5. 申込期間：令和6年4月16日（火）～4月26日（金）

6. 申込場所：泉崎村 保健福祉総合センター（TEL 0248-54-1335）

※検診時間等、詳しくは後日通知します。

※外国人登録をされている方も検診を受けられますので、希望される方は申し込んでください。

<年度内30歳以上偶数年齢とは>

30歳・・・平成6年4月1日～7年3月31日生	54歳・・・昭和45年4月1日～46年3月31日生
32歳・・・平成4年4月1日～5年3月31日生	56歳・・・昭和43年4月1日～44年3月31日生
34歳・・・平成2年4月1日～3年3月31日生	58歳・・・昭和41年4月1日～42年3月31日生
36歳・・・昭和63年4月1日～平成元年3月31日生	60歳・・・昭和39年4月1日～40年3月31日生
38歳・・・昭和61年4月1日～62年3月31日生	62歳・・・昭和37年4月1日～38年3月31日生
40歳・・・昭和59年4月1日～60年3月31日生	64歳・・・昭和35年4月1日～36年3月31日生
42歳・・・昭和57年4月1日～58年3月31日生	66歳・・・昭和33年4月1日～34年3月31日生
44歳・・・昭和55年4月1日～56年3月31日生	68歳・・・昭和31年4月1日～32年3月31日生
46歳・・・昭和53年4月1日～54年3月31日生	70歳・・・昭和29年4月1日～30年3月31日生
48歳・・・昭和51年4月1日～52年3月31日生	72歳・・・昭和27年4月1日～28年3月31日生
50歳・・・昭和49年4月1日～50年3月31日生	74歳・・・昭和25年4月1日～26年3月31日生
52歳・・・昭和47年4月1日～48年3月31日生	：

※74歳以上の方も受けられます。

<問い合わせ先> 泉崎村 保健福祉総合センター（TEL 0248-54-1335）

裏面もご覧ください。⇒

脳ドックQ&A（脳ドックについてよくある質問と答え）

Q1 脳ドックはどんな状態の人が受けるべきでしょうか。

A 医学的観点から、以下の状態の方におすすめします。

なお、状態によっては最初から保険診療が適用となる場合があります。

① 動脈硬化の危険因子がある方

- ・ご本人が生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常、肥満、高尿酸症、心疾患などの循環器疾患）にかかっている。
- ・両親、兄弟など家系に脳卒中になった人がいる。
- ・両親、兄弟など家系に生活習慣病になった人がいる。

②もの忘れが気になる方

③気力、意欲がわかなくなった方

④頭痛、頭重感、めまいなどの症状がある方

※片側の手足のしびれや強いめまいがあったり、言葉が出にくいなどの明らかな症状がある場合は、保険診療となりますので、早急に専門医を受診してください。

Q2 脳ドックで異常なしであれば、脳の病気になる心配はないのですか。

A 残念ながら、そうは言えません。高血圧性脳内出血、脳塞栓症は予測ができません。高血圧性脳内出血は1mmよりも細い血管が高血圧のため破ける病気で、MRAではそこまで細い血管は映りません。血圧が高くならないように注意することが重要です。脳塞栓症は心臓の病気（不整脈や弁膜症）が原因で、心臓の中の血の塊（血栓）が脳の血管に流れてきて詰まる病気です。心臓の病気がある方は、循環器科の医師にご相談ください。また、脳卒中に比べ数は極めて少ないのですが、急激に進行する悪性脳腫瘍などは早期発見が困難です。

Q3 脳ドックはどのくらいの間隔で受ければいいのですか。

A 検査の結果、脳に異常がなくても、今後異常がおきるかもしれません。一度検診を受けても満足しないで、2～3年に1度は脳ドックを受けると良いと思われます。

この検査は、頭部MRI、MRAのみとなりますので、特定健診（血圧、血液検査、尿検査等）は毎年必ず受け、生活習慣病の予防に努めましょう。

脳ドックを希望される方へ

この検査は強い磁気の中に入って行う検査です。以下の方は受診できない場合がありますので、事前にご確認をお願いいたします。

1. ペースメーカーを使用している
2. 妊娠中である
3. 人工心臓弁を使用している
4. 動脈瘤クリップなど、手術で体内にクリップがある
5. 人工骨頭・人工関節を使用している
6. 骨折固定板・ボルトがある
7. インプラントを使用している
8. その他（ワイヤー等金属がある・・・など）

※1・2に該当の方は、MRI検査はできません。3～7に該当の方は検査を受けても良いか、事前にかかりつけの医師にご相談ください。確認できない場合は、前もって白河病院（Tel 0248-23-2700）、ニューロクリニック（Tel 0248-24-4111）、総合南東北病院須賀川診療所（Tel 0248-73-3331）、会田病院（Tel 0248-42-3592）へお問い合わせください。

表面もご覧ください。⇒